

# ちょうふ ISO譜<sup>o</sup>

い そ っ ぶ

カーボン・クロズド・サイクル！



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



第106号（令和5.3.14）  
発行：環境政策課ISO事務局（内7086）

取り組もうアクション3 [プラスチック対策（CHOFUプラスチック・スマートアクション）]

## 《マイボトル》を活用しましょう！

マイボトルの活用は、CO<sub>2</sub>削減に資する取組です。

皆さん持っている《マイボトル》ですが、今回は、より活用していただけるよう、その効果と必要性について紹介します。

Work with

マイ  
ボト  
ル

運動！

海洋生物への影響等が懸念される《海洋プラスチックごみ問題》等を背景として、国内でもレジ袋が有料化されるなど、国際的な環境問題解決への機運が高まっています。

市では、《CHOFUプラスチック・スマートアクション》に取り組んでおり、会議賄いからのペットボトルの廃止等に全庁で取り組んでいます。



～庁内自販機の掲示～

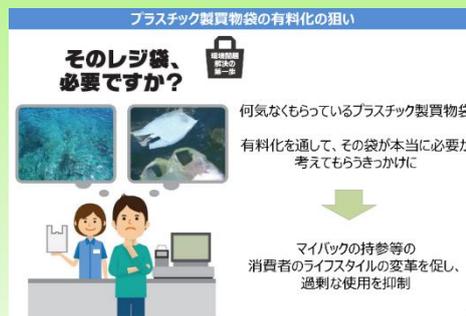


～啓発ロゴマーク～

また、すべての職員を対象とした「マイボトル持参」の取組について、例年、《ISO自己チェックリスト》における《マイボトルの持参》の点数は3点満点に近い点数となっており、持参率が高いため、今後、更に有効活用していく必要があります。

### レジ袋有料化（R2.7～）

- 《海洋プラスチックごみ問題》等を背景として、開始されました。
- すっかりなじんだ取組であると思いますが、レジ袋有料化のみで終わるのではなく、このことをきっかけとして、環境のことを考える必要があります。



# マイボトルの活用は，《事務事業編》※にも位置付けられています。



事務事業編では、職員一人一人が日常業務において取り組む「チーム調布市役所の率先行動」として、4つのアクションを設定しています。

## ○アクション1は

市役所における温暖化対策の基本！

省エネで市役所の二酸化炭素排出を減らす取組です。

○アクション3は海洋プラスチックごみ問題を防止します。

＼ココミル！／



## ○アクション2～4は 市域・広域の温暖化対策

製造～使用～廃棄における省エネ・省資源で調布市役所の周辺から二酸化炭素排出を減らす取組です。

○アクション4は、アクション1～4すべてに寄与するものです。



《マイボトル》の取組はココ。

## ～市庁舎におけるペットボトル排出量～

市庁舎におけるペットボトル排出量(kg)



近年の市庁舎におけるペットボトル排出量を見ると、令和2年度を境に大きく減少しています。

ISO自己チェックリストの結果からは、マイボトルの持参率は高いとされていて、ペットボトルの削減ポテンシャルはまだまだあるといえます。

マイボトル内の飲料がなくなった後の補充方法についても、ペットボトルから補充しないなど、環境配慮の取組をお願いします。

令和2年度の夏から、市役所本庁舎はペットボトルのない自動販売機になっています。



※市が策定する『地球温暖化対策実行計画』のうち、調布市役所が、市内の一事業者として、地球温暖化対策等に率先して取り組むための計画が《事務事業編》です。

計画削減目標（二酸化炭素排出量 平成25年度比）：令和7年度…17.1%・令和12年度…40%

# ペットボトルは、地球温暖化に関係がある？

環境省資料※によると、ペットボトル1本当たり119gのCO<sub>2</sub>が生産から廃棄までの過程で排出されています。



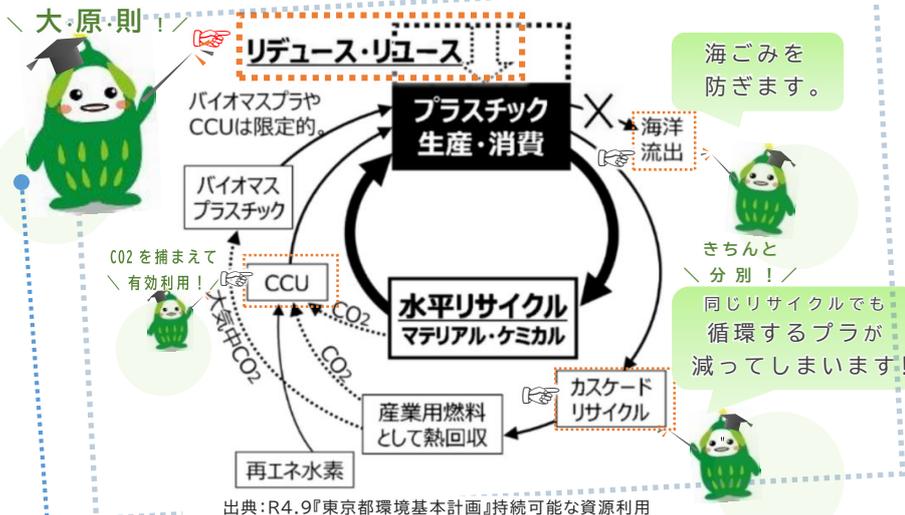
令和3年度の市庁舎  
ペットボトル排出は  
**5.4t-CO<sub>2</sub>\***  
に換算されます。



令和4年9月に改定された『東京都環境基本計画』では、プラスチックは優秀な素材でありつつも、『生産から廃棄までの各段階において気候変動や生物多様性の損失に影響を及ぼしている。』としています。

## [解説！] 持続可能なプラスチック利用！

ISO 語彙的意識：CO<sub>2</sub>も逃さず循環させる  
[「カーボン・クローズド・サイクル」の考え方]



持続可能で、CO<sub>2</sub>排出実質ゼロのプラスチック利用の新しい形が左図です。

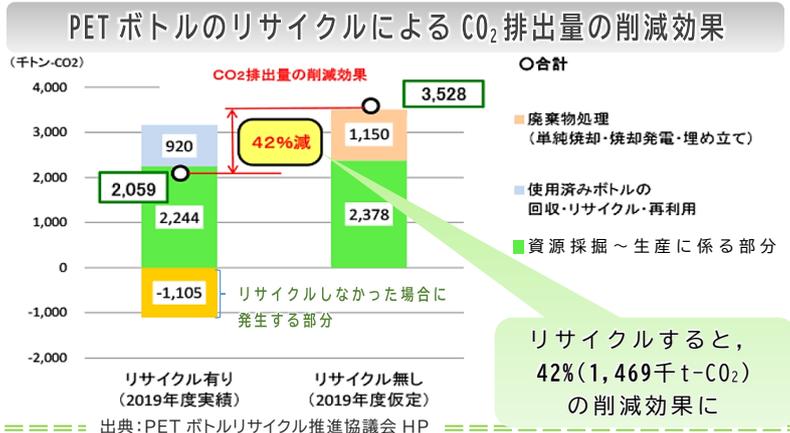
都は、《水平リサイクル》(プラスチックをプラスチックとしてリサイクルすること)を基本として、プラもCO<sub>2</sub>も、逃がさず漏らさずきっちり循環させることを目指しています。

上のサイクルが完成しても、おもとのプラスチックを生産・消費する量を減らす、《リデュース》・《リユース》の取組が大原則となります。

**まずは、使い捨て製品を選ばないようにしましょう！**

Q：新しくものを作るより、リサイクルしたほうが環境負荷が大きそうな気がします。

A：右グラフのとおり、リサイクルしたほうが、CO<sub>2</sub>排出が低いことが分かります。  
※ただし、コストが高くなる可能性はあります。



リサイクルすると、42%(1,469千t-CO<sub>2</sub>)の削減効果に

※出典：環境省『リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について』  
ペットボトル1本(33.86g)から119g-CO<sub>2</sub>排出されるとしています。

# マイボトル活用で CO<sub>2</sub> 削減！ → ゼロカーボンへの道！



マイボトルの利用による環境負荷分析



1回使用して  
リサイクルした場合

100回使用した場合  
の1回分

出典：環境省『リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について』

マイボトルは、使えば使うほど CO<sub>2</sub> 排出が抑制されていきます！

12回程度の使用で、ペットボトル1回分よりも低くなります。

毎日マイボトルをもって、活用していきましょう！

《ゼロカーボン》を  
実現させるため



自分で使うエネルギー以外  
“にも目を向けましょう。”

## ★ 環境目標 (各課共通項目・管財課項目) ★

「環境目標」は、全庁で取り組む、市の事務事業から発生する環境負荷を低減し、環境保全を行うための目標です。現在は、「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すうえでの市の率先行動として、温室効果ガスの排出を抑制することを主眼に設定しています。

### ☆ 令和4年度の環境目標達成状況

○ … 達成

取組対象	項目	第2四半期判定	(参考) R3第2四半期判定
全公共施設 ・車両	1 第4次調布市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に係るCO <sub>2</sub> 排出量の削減 -令和元年度比2.5%削減-	○	○
	2 環境確保条例に係るCO <sub>2</sub> 排出量の削減 -基準年度から27%削減-	○	未達成
	3 グリーン購入の推進 -グリーン購入率を95%以上にする- ※「グリーン購入法適合商品」購入	○	○
市庁舎内の全課	1 電気使用の抑制 -令和元年度を上回らない-	○	○
	2 ガス使用の抑制 -令和元年度を上回らない-	○	○
	3 水道使用の抑制 -令和元年度を上回らない-	未達成	未達成
	4 可燃物排出量の削減 -令和元年度を上回らない- ※資源物(新聞・雑誌+リーフレット・段ボール・ミックスペーパー)+資源物以外の可燃物	○	○
	5 不燃物排出量の削減 -令和元年度を上回らない- ※不燃物…資源物(カン・ビン・ペットボトル・プラスチック)+資源物以外の不燃物	○	○



CO<sub>2</sub> 排出関連目標は、特に冬に悪化する傾向にあります。冬の省エネを心がけてください。水道使用量は手洗いの励行により増加しています。